

初等部 Elementary School

初等部で学んだこと

木佐貫 謙 初等部6年

僕は初等部に入学してすぐにこの学校が好きになりました。その理由の一つとして先生が子どもと一緒に遊んだり、子どもの遊びを見守ったりしてくれて安心したというのがあると思います。

僕が初等部生活で苦手だったものは宿泊行事でした。でも、そのおかげで自然を通して神さまの恵みを感じられました。また、宿泊行事があったからこそ荷物整理を含む自立を学びました。

神さまは僕にとっていつも見守ってくださる存在です。そのため、僕は低学年の頃苦手だった水泳等の心配なこと、不安なことがある度にもいつも神様にお祈りをして頑張ってきました。

初等部で学んだ、五つのおやくそくや聖書の「人にしてもらいたいと思うことはなんでも、あなた方も人にしなさい。」は初等部生活で少しはできたかなと思うので、これを中等部やその先でも生かしていきたいです。

6年間通い続けた初等部と別れるのは寂しいです。将来、教師になってこの初等部に戻ってきたいと思います。



たくさんのお祈り

丸山 春佳 初等部教諭

みなさんと出会ったのは、4年前。何事にも目をきらきらと輝かせて取り組むかわいい姿が、目に焼き付いています。そして卒業を目前にした今、背丈ものび、最上級生らしい行動ができるようになったみなさんの姿は、とても眩しく見えます。

2年前、私は産休を取りました。私とお腹の赤ちゃんのことを、毎日のお祈りに加えてくれましたね。最後は、「神にもいまして」の讃美歌を歌って送り出してくれました。娘が無事生まれてくるまで、不安なことや大変なこともたくさんありましたが、みなさんのお祈りや歌声を思い出すたびに「私にはお祈りしてくれる子どもたちがいるから大丈夫。」と思うことができました。本当にありがとう。

初等部から巣立った後も、たくさんのお祈りがみなさんを支えてくれます。だから、どんな時も安心して歩んでください。そして、誰かのためにお祈りできるみなさんのままでいてください。ご卒業、おめでとうございます。

